

仮定法 発展

文法・語法上の誤りのある箇所を1つ選びなさい。

- Jane said, “If I ① were you, I ② will not have ③ married him.”

(西南学院大)

- ① [校正用: false]
- ② [校正用: true]
- ③ [校正用: false]

解答：② → would

【設問の解説】

「ジェーンは『もし私があなただったら、彼とは結婚しなかったでしょうね』と言った。」

まず、引用符のなかの文なので、冒頭のJane saidとの時制の一致は考えなくてよい。問題は、引用符内の文が仮定法過去なのか、仮定法過去完了なのかどうか。仮定法過去「もし私があなたなら、彼とは結婚しないでしょう」であれば、主節は〈助動詞＋動詞の原形〉で表すので、I would not marry himとなる。本問は、**仮定法過去完了**を使った文。仮定法過去完了なので、本来であればif節はIf I had been youとなるが、「私があなたでない」という**現実に反する仮定**は過去も現在も未来も変わらない**不変の真実**なので、このような場合、過去の現実に反する仮定であっても、if節内を仮定法過去で表すことがある。主節の〈助動詞＋have done〉とずれが生じることに注意。

③ marry ～「～と結婚する」は直接目的語をとれる他動詞。

空欄に適する語句を選びなさい。

- If she had not stayed up late, she [] so sleepy now.

(獨協大)

- ① will be [校正用: false]
- ② would have been [校正用: false]
- ③ would not be [校正用: true]
- ④ will not have been [校正用: false]

解答 : ③

【設問の解説】

「夜更かししていなかったら、彼女は今そんなに眠くないだろう。」

文末のnowに注目。仮定法では、if節と主節で仮定法過去と仮定法過去完了が混在することがある。本問では、if節の「夜更かしなかったら」は過去の現実に対する仮定なので仮定法過去完了had not stayedを使い、主節の「眠くないだろう」はnow、つまり現在の現実に対する内容なので仮定法過去を使わって表す。if節と主節とで、本来の動詞の形にずれが生じることに注意。

2つの英文がほぼ同じ意味になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

- (a) To talk with Mary, you would think she were a kind-hearted woman.
(b) If [] with Mary, you would think she were a kind-hearted woman.

(－)

- ① you will talk [校正用: false]
- ② you have talked [校正用: false]
- ③ you had talked [校正用: false]
- ④ you talked [校正用: true]

解答 : ④

【設問の解説】

「メアリーと話せば、彼女が優しい心をもった女性だと思うだろう。」

仮定法を扱う問題のなかには、if節に相当する語句がなく、不定詞が仮定法の意味を含む文が出題されることがある。本問は、(a)のTo talk with Mary「メアリーと話せば」がこれに相当する。主節の動詞が〈助動詞＋動詞の原形〉would thinkとなっており、仮定法過去の文とわかるので、if節の動詞は過去形を使う。

空欄に適する語句を選びなさい。

- How foolish you are! I [] you.

(－)

- ① shouldn't have asked [校正用: true]
- ② should ask [校正用: false]
- ③ couldn't be asking [校正用: false]
- ④ could have asked [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「軽率にもほどがあるぞ！ きみに頼むんじやなかったよ。」

仮定法を扱う問題のなかには、if節に相当する語句がなく、文脈から仮定法の意味合いを汲みとらなければならないものがある。本問は、相手に「きみは軽率だ！」と言い放った話者の「きみに頼むべきではなかったのに（実際には頼んでしまった）」という気持ちを文脈から読みとる。

ここに参考書リンクが入ります